

第2次佐倉市環境基本計画の中間報告（素案ver4.7）に対する質問・回答一覧と主な修正点

（）内のページ数は、ver4.7（9月18日送付）のページ番号です。

No.	章	項目	ページ	行	委員名	ご質問・ご意見(要旨)	回答(要点のみ)
1					事務局	-	下線(アンダーライン)部分が、修正した箇所です。
2					事務局	-	【計画書構成の変更】 第2章でまとめていた、社会情勢の変化や市内現状などについては、資料編に移動しました。 第2章5 で整理していた課題と対応については、環境施策の章の個別目標の下に、施策につながる説明文として挿入しました。
3					事務局	-	第4章 重点プロジェクト、第5章 計画の進行管理を作成しました。
4	1				委員	この計画は12年間という長丁場になります。目標値は、3年とか4年で区切り、設定しておくことが、見直しや再検討が容易になるのではないのでしょうか。	目標の最終年度に加え、中途の年度における目標を掲載しました。 また、計画の進行管理をするなかで、計画の中間見直しの必要性を検討してまいります。
5	1	3	4		事務局	-	第1章3 計画の期間 中間見直しに関する文章を修正しました。
6	3	1	15 (47)		委員	第4章<補足事項> 「現在、庁内関係課との調整中です」と記載がありますが、具体的にはどのような会合又は会議、打合せを行っていますか。	庁内関係課の担当者(各課各班の班長レベル)を集めた庁内検討会議を2回開催しました。 その中で、計画の骨子、施策、事業について説明し、協議、意見交換した内容を、本計画に反映しました。 また現在、全庁の各課に対し、本計画素案について意見を照会しています。
7	3	2	18 (50)		委員	第4章 2環境施策 タイトルの次に、直ぐに「基本目標1」から始まりますが、ここに簡単な説明文を入れた方が良いと思います。 第3章 41ページには入っています。	ご指摘の通り、追加しました。

No.	章	項目	ページ	行	委員名	ご質問・ご意見(要旨)	回答(要点のみ)
8	3	2	20		事務局	-	目標達成に向けた事業の一覧表について、本計画からの新規事業については、事業欄に★を、一部新規・拡充のものについては☆をつけました。
9	3	2	20 (50)		委員	施策3)印旛沼・流域の再生に向けた普及、啓発の中で「多様な主体による取組を活性化」とは、具体的に何を想定しているか。	市民、市民団体、農業・漁業従事者、観光等沼利用者、事業者などを想定しています。本文中にも追記しました。
10	3	2	20 (50)		委員	施策3)印旛沼・流域の再生に向けた普及、啓発の中で「多様な動植物」の中に外来生物は含まれていると考えるか、あるいは在来生物だけが想定されているのか。	在来生物のみを想定しています。
11	3	2	22 (52)		委員	施策4)動植物の生息・生育環境の保全の中で、「多様な動植物の生育環境の保全」に、「外来生物」は除外されている(事業⑤)ことからすると、あくまで在来生物だけが対象とされており、そうであれば環境保全の対象は、あくまで在来生物であることを最初から特定してほうが良いのではないか。	「在来生物だけが対象である」旨の注釈を追加することや、外来生物に関するコラムの挿入などにより、わかりやすい内容となるよう努めます。
12	3	2	25 (55)		委員	市民の取組 「・外来生物等の地域の生態系に影響を与える動植物について、繁殖・拡大の防止に努めます。」とある。 「駆除」が意図的に記載されていないが、たとえば(カミツキガメは無理としても)有害とされる路肩の植物などの駆除は、市民でも可能ではないか。「駆除」を含めてかまわないように思える。	「適切な駆除方法」の周知・啓発と併せて、今後、市民による「駆除」も推進したいと考えています。

No.	章	項目	ページ	行	委員名	ご質問・ご意見(要旨)	回答(要点のみ)
13	3	2	26 (50)		委員	<p>漠然とした指摘となっておりますが、「基本目標1 豊かな自然を守り育てるまち」の「個別目標(1) 印旛沼・流域の再生」について。</p> <p>個別目標に、具体的に「印旛沼・流域の再生」と掲げていますが、どのような形になると「再生」なのか、が見えにくいと思いました。</p> <p>COD値の目標値だけでは、再生とは言いにくいかも・・と思います。</p> <p>印旛沼流域健全化会議の行動計画では、より具体的な形を「再生」としてしています(ここまで具体的でなくても、とは思いますが)。</p>	<p>水質浄化に向けた取組の推進や湧水保全だけでなく、印旛沼のイメージや親水性の向上、市民意識の高揚にも取り組んでまいります。</p> <p>また、印旛沼に対する市民や観光客の親しみ度合いをはかるため、基本目標1の成果指標に、「ふるさと広場の来場者数」を追加しました。</p> <p>印旛沼流域の再生に向けては、引き続き、印旛沼流域水循環健全化会議や流域市町と連携・協力を図ってまいります。</p>
14	3	2			委員	<p>「達成目標値」など、どのようにして達成するのかの具体的な説明が必要と思います。</p> <p>例えば、P70の「CO2排出量」の2030年度へ「何をもち」て「どの様にして達成するのか」等々。</p>	<p>達成目標は、各施策を推進した結果が表れるであろう「指標」を設定したものです。</p> <p>個別目標、施策、事業を実行することにより達成されるものと考えています。</p> <p>本指標について、誤解をまねかないよう、名称を「成果指標」に変更しました。</p>
15	3	2			委員	<p>施策は具体的にするとともに、目標値は出来るだけ数値化する努力をしてはいかがでしょうか。</p>	<p>本計画の進行管理をしていくうえで、各事業ごとに「事業概要、目標値」を設定し、毎年度、担当課から「実績、成果概要、達成度」を報告してもらうよう検討しています。</p> <p>また、その結果を環境審議会で報告し、進捗状況等についてご意見をいただくよう考えています。</p>
16	3	2			委員	<p>各部署の担当者も代わります、市長も代わるかもしれません。この計画が継続可能な計画書になる工夫が必要ではないでしょうか。</p>	<p>担当者によらず計画が進行するよう、進捗管理の手法を工夫します。</p>
17	3	2			委員	<p>全体的に、SDGsの考え方に基づいて作成されているが、施策はできるだけ具体性に配慮したほうがよい。</p>	<p>出来るだけ具体的な施策となるよう努めます。</p>

No.	章	項目	ページ	行	委員名	ご質問・ご意見(要旨)	回答(要点のみ)
18	3	2			委員	個別目標について、達成目標欄の記載のある個別目標とないもの、また、記入欄はあるが、空白となっているもの、まちまちです。数値目標が示されているのは2/12ほどです。今後、行動計画にてこれら達成目標が検討されるのであれば、達成目標欄は不要と思われます。改めて行動計画を立案せずに本基本計画にその役割を負わすのであれば、PDCAサイクルはCの段階で停止してしまうように感じられます。したがって、達成目標欄を設けるのであれば、可能な限り基本計画の進捗状況をチェック出来るような記述が必要に思われます。ご検討の程、お願い致します。	成果指標については、基本目標ごとに設定しています。本計画の進行管理をしていくうえで、各事業ごとに「事業概要、目標値」を設定し、毎年度、担当課から「実績、成果概要、達成度」を報告してもらうよう検討しています。また、その結果を環境審議会で報告し、進捗状況等についてご意見をいただくよう考えています。なお、今後、行動計画を策定する予定はありません。
19	3	2	28 (57)		委員	基本目標2(4) 事業② 「収集運搬や中間処理、最終処分の負担を減らすため、マイバッグを活用することでレジ袋の使用を減らします。」とあるが、「レジ袋の使用を原則廃止します。」としてはいかがでしょうか。 (目標年度が2031年度であるため)	国において「プラスチック資源循環戦略」が策定されました。このなかで、「レジ袋の有料化義務化」が示されておりますので、その動向を注視していきます。
20	3	2	28 (58)		委員	基本目標2(4) 事業⑤ 「生活ごみの減量化を促進する点から、有料化の導入について検討します。」と記載されていますが、佐倉市では既に有料化されているのではないですか。	粗大ごみについては、平成13年10月から有料化しています。しかし、集積所に排出するための指定ごみ袋については、その値段に「ごみ処理経費」は含まれておりません。集積所に排出されるごみの有料化について、今後、検討していく必要があります。
21	3	2	29 (58)		委員	市民の取組 「・すぐにごみになるようなもの、資源化しにくいものは買わないようにします。」といっても、その判断は必ずしも容易ではない。	使い捨てのプラスチック製品の使用を削減するよう啓発するなど、わかりやすい広報と市民意識の高揚に努めます。

No.	章	項目	ページ	行	委員名	ご質問・ご意見(要旨)	回答(要点のみ)
22	3	2	29 (60)		委員	達成目標 リサイクル率が、2018年から10年後の2029年で、わずかにマイナス0.1%で大差ない。数値が低すぎるのではないか。	資源回収の大部分を占める集団回収(子ども会等)の活動低下などにより、令和11年度におけるリサイクル率は、16.2%まで低下することが想定されていますが、「集団回収の活性化」や「可燃ごみ中に含まれる紙類を資源ごみに分別することの推進」等により、現状値を維持したいと考えています。
23	3	2	30		事務局	-	基本目標3の個別目標を「5環境負荷の低減」と「6安全・安心な生活環境の保全」に分割しました。
24	3	2	34 (63)		委員	基本目標3 市民・事業者の取組 P69(基本目標4 市民・事業者の取組)にある次世代自動車の導入に関する事項を、追加してはいかがでしょうか。	ご指摘の通り、追加しました。
25	3	2	39 (68)		委員	個別目標(9) 気候変動適応策の推進 施策(23) 自然災害対策の推進、 施策(24) 健康被害対策等の推進 どのように進めるかについて、記載されており、主たる活動は啓発活動に置かれているように思えるが、今回の台風による風害を考えると、もう少し具体性を持たせた施策を考えたほうが良いのではないか。	事業⑨を以下に修正します。 気候変動の影響による被害を最小限とするため、地域の防災・減災力の強化など、気候変動適応に関する施策について検討し、実施します。 今回の台風による被害を受け、当市でも災害への備えの必要性については十分に認識したところですが、現時点では市としてまだ復旧段階にあり、関係部署を交えて具体的な対策を検討する段階には至っていないところです。
26	3	2	40 (69)		委員	基本目標4 市民の取組 2番目 ・LEDなど…導入に努めます。 4番目 ・太陽光発電…導入に努めます。 とあるが、 ・住宅のゼロエネルギー化を促進します。 としてはいかがでしょうか。	基本目標4 市民の取組 8番目を修正しました。 ・住宅の新築、リフォーム、や建て替えの際には、ゼロエネルギー化や断熱化など省エネ建築物となるように努めます。 (あわせて、事業者の取組も修正しました。)
27					委員	もう一点、前回の会議でも意見が出ていたと思いますが、現行の佐倉市環境基本計画において何がどこまで進んだのか(何ができていないか)、を検証できるとよいのではないかと思います。とても難しい検証ですが。	前計画の進捗評価については、進捗評価報告書(関係課における事業の進捗確認と市民アンケートによる満足度を併せて評価したもの)において報告させていただきましたが、さらに詳細な検証、整理に努めます。

No.	章	項目	ページ	行	委員名	ご質問・ご意見(要旨)	回答(要点のみ)
28					委員	骨子同様、印旛沼の水質浄化に関する記載が多く、力が入っていることが良くわかります。	
29					委員	市民に分かりやすく、理解しやすくするには、視覚にうたえることが、良いのではと思いました。なるべく、絵、写真、図、グラフの活用をし、見るだけで理解でき、興味をもていただける工夫をしてみたいでしょうか。	ご指摘の通り、対応いたします。
30					委員	テレビ東京で放映されている「池の水ぜんぶ抜く」という番組で、時折、印旛沼のカミツキガメ駆除作戦が展開されていて、西田市長も出演していたことがあるが、佐倉市としてこの番組をバックアップ(たとえばスポンサーシップなど)しているのかどうか。	制作会社から撮影の協力依頼があった場合は、現地の案内など対応しています。
31			提案		委員	「無電柱送電」(地中送電)の促進	いただいたご提案を参考にさせていただきます。
32			提案		委員	休耕地等の活用として、発電・農産物生産のソーラーシェアリングの促進。①上で太陽光発電(構造は立体的にできる) ②下で農産物栽培	いただいたご提案を参考にさせていただきます。
33			提案		委員	印旛沼周囲への総合的植林の促進	いただいたご提案を参考にさせていただきます。
34			提案		委員	印旛沼の外来魚の除去手段として人海戦術としての全国的イベントとして印旛沼の外来魚釣り大会の実施(年2回、数年間)	いただいたご提案を参考にさせていただきます。
35			提案		委員	高齢者、市民カレッジ生の活用 (例えば、14期生による「ストリート14」活動で、佐倉市内の危険個所、不法投棄等々の調査、摘発、申告等々。	いただいたご提案を参考にさせていただきます。